

## 11年度上期市況見通し⑤

## 専門家に聞く

## コバルト

## 買い気薄く軟化、14.5—16ドル

コバルトの国際価格の先行きは、中国の買い気が薄いので、現状より少し低いポンド14・5—16ポンド（純度99・3%グレード）まで落ちると考える。

国際価格はここ1年近く16—20ポンドのレンジを推移し、足元は17ポンド前後まで下落して、周期的にも下げ局面を迎えている。

最大消費国の中国では原料が余っている。銅相場の上昇を受け、コバルト鉱石に含まれる銅を目当てに、コンゴから鉱石を多く輸入したためだ。当面は鉱石の買い控え状態が続くと思われる。昨年上期したロンドン金属取引所（LME）の在庫も高い水準にあり、4—6月は直近安値の16ポンドを下回りそうだ。

需要面でも、リチウムイオン電池の省コバルト化や非コバルト系への需要シフトにより、市場拡大にコバルト需要が比例していない。スーパーアロイ向けは今のところ好調だが、航空機の納期遅れや、震災による原発の開発遅れが予想され、強材料に乏しい。



メタルドウ専務  
山頼 敏彦氏